

1. パッシブシステムによる環境調整

パッシブシステム

◇ 建物全体の性能によって熱の流れを_____することにより、暖房や冷房の効果を
得るシステム。

→ 建物を流れる____を, 特別な_____を用いずに, _____(_____), _____,
_____によって_____に流れるようにする。

→ 自然の環境に適応しながら, 自然の持つ潜在力(_____)を有効に活用する。

→ 建物全体が, システムの構成部品であり, 通常の冷暖房装置のように建物と分離できる独立
したシステムではない。

→ 伝統的な_____に見られる環境調整手法に学ぶ点が多いのではないだろうか?

→→ 昔は, 空調機器などはなかったのに, 快適な環境を創り出すために工夫していたであ
ろうから。

→→ 2. 伝統的民家における環境調整を参照。

◇ ただし, パッシブシステムだけでは限界があり, アクティブシステムとの_____が実際の
である。

※ハイブリッドシステム=パッシブシステムに重点をおきながら, その補助としてアクテ
ィブシステムを用いる。

(1) パッシブシステムの利点

- _____エネルギー
- _____冷暖房時における居住性の向上
- 建物自体の_____

(2) パッシブシステムの評価のためのポイント

- 最低限必要とされる居住環境レベルが実現できているか?
- 必要に応じてアクティブシステムを稼働させた時のエネルギー消費量はどうか?

（3）パッシブシステムのデザインプロセス

1) _____の気候特性を把握し、コントロールすべき気候_____を明確にする。

気候要素：日射，外気温，風（風速・風向），周囲の表面温度，地中の温度など

2) 気候要素ごとに，それらをコントロールする技法を検討する。

冬：できるだけ多くの熱を_____。できるだけ熱が_____ようにする。上手に熱を_____。（防寒，採暖）

夏：できるだけ熱の_____を防ぐ。できるだけ熱が_____ようにする。上手に蓄_____を行う。（防暑，採涼）

3) 技法間の_____を調整し，統合する。

冬の技法と夏の技法の矛盾の調整，同じ目的を持ちながら生じる技法間の調整

→それとも，季節が変わると，技法も変える仕組みを考えるか？

→→建物も衣替え？

3. 伝統的民家における環境調整

表1 暑熱地域における防暑・採涼手法の効果別分類(出典:[12], p. 14)

防暑・採涼
手法の例

	年間乾暑	季節乾暑	年間蒸暑	季節蒸暑
代表地域	砂漠地方	地中海 中東地方北部	東南アジア カリブ海諸国	日本 米国東海岸 中国南東海岸
夏 気温	日中 27~45℃ 夜間 5~15℃ 平均湿度 5~15%	日中 36~46℃ 夜間 18~24℃ 平均湿度 8~20%	日中 26~33℃ 夜間 21~25℃ 平均湿度 70~90%	日中 26~32℃ 夜間 20~27℃ 平均湿度 70~80%
冬 気温	日中 20~30℃ 夜間 0~5℃	日中 4~15℃ 夜間 -7~-2℃	日中 21~24℃ 夜間 16~18℃	日中 10~15℃ 夜間 -2~-5℃
晴天時 日射量	1.1~1.2kW/m ²	1.0~1.2kW/m ²	1.0~1.1kW/m ²	0.85~1.1kW/m ²
集落形態	互いに密集して日影を作る		住居は互いに離れて建ち、風通しをよくする	
通風 加湿冷却	比較的少ない	採風塔 室内の池	年中開放 打ち水	高天井 打ち水、池
日除け	厚い壁、小さい窓	マシュラベ-ア、回廊	庇	庇、格子、簾
蒸発冷却	土屋根は少量の雨を吸収	素焼きの甕	茅葺屋根	茅葺屋根、瓦屋根
日射反射 大気放射	白っぽい土色の屋根と外壁	白壁	多雨のため白は汚れる	反射は意図しない
屋根の形	陸屋根、ドーム	緩勾配屋根	急勾配屋根、二重屋根 高床	急勾配屋根、二重屋根 竹麻造り
床	土間床	土間床	高床	竹麻造り
蓄熱容量	石造り、日干煉瓦	石造り、日干煉瓦	軽量	土蔵造り、土間
煙突効果	日射加熱塔 排風型ドーム	排風型ドーム バドギア	通風孔	換気孔、煙出し
水面 調湿	オアシス	噴水のある広場	水上家屋 ゴザ、木	池 土壁、タタミ、木
土壌接触	地中住居、横穴住居	窰洞、地下風道	盛土土間	盛土土間
夜間冷気	屋上寝台	中庭の下部に滞留	自然換気のみ	土壁に蓄熱
中庭	採光のためのみ	非常に多い	一般にない	少ない、坪庭
前庭 植栽	あまりない あまりない	あまりない 中庭に植樹し影を作る	草木は高く多い 大木に囲まれる	植物、池を配する 藁、大木、灌木、芝生

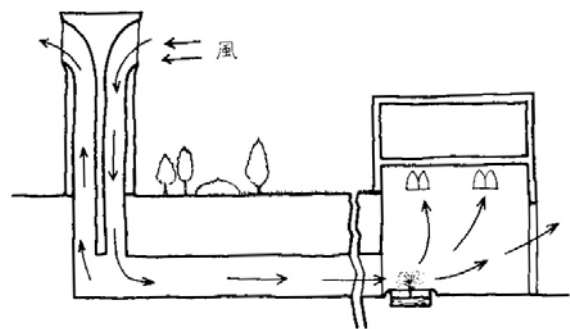
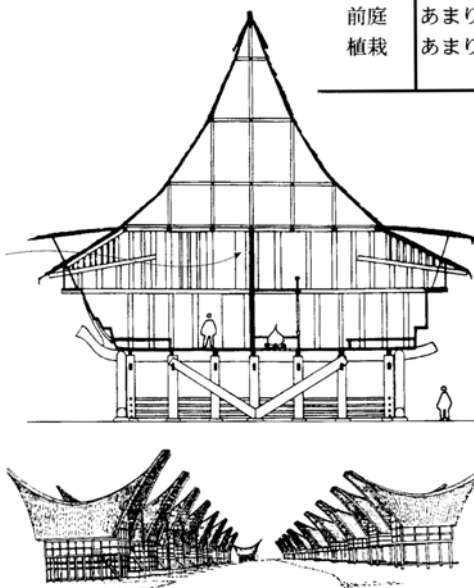


図1 イランのパッシブクーリングシステム(出典:[5], p. 92)

←図2 熱帯雨林気候における住居(出典:[14], p. 60)

→スライド

・『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』（参考文献 [14]）より

- 1) ステップ気候帯におけるパッシブ環境調整手法（パキスタンの採風塔，バグダッドの民家）
- 2) 熱帯雨林気候帯におけるパッシブ環境調整手法（インドネシア・南スラウェシの民家，インドネシア・スマトラの民家）
- 3) 地中海性気候帯におけるパッシブ環境調整手法（イタリア・ジェノアの街並み，南イタリアのある村の民家，ギリシャ・サントリーニの民家）

防寒・採暖手法の例

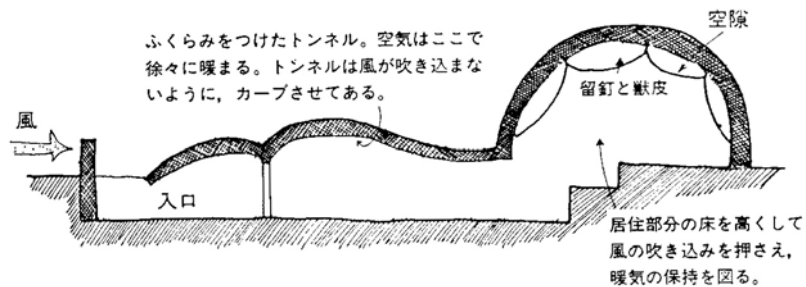


図3 エスキモー・イヌイットの家イグルー（出典：[45]，p.146）

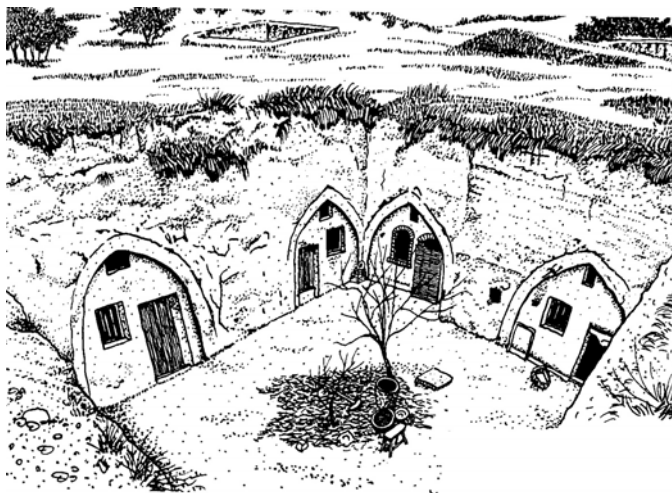


図4 中国の地下住居（出典：[37]，p.10）

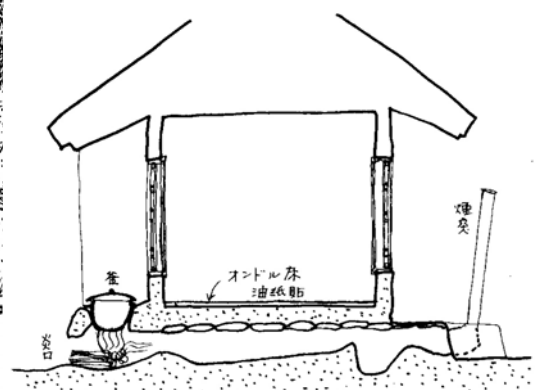


図5 韓国のオンドル（出典：①，p.30）

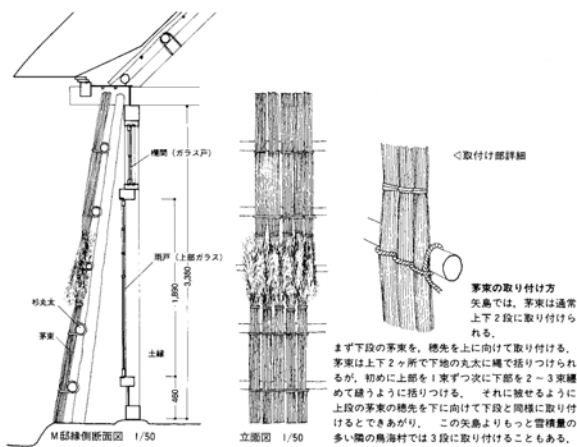


図6 秋田県の雪囲い（出典：[10], p.62）

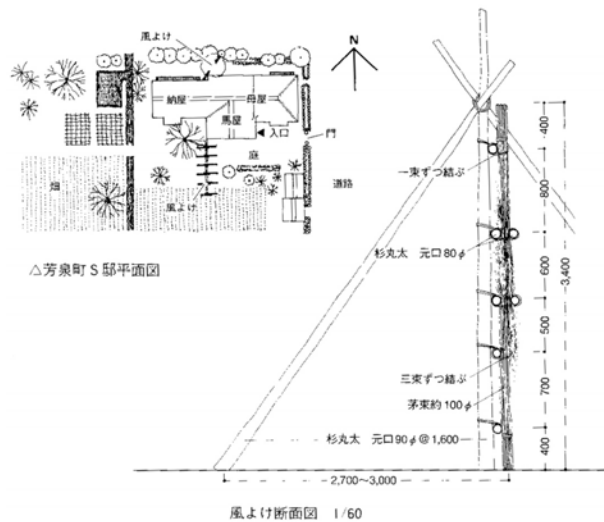


図7 山形県の風よけ（出典：[10], p.65）

→スライド

・『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』（参考文献 [14]）より

- 1) 冷帯気候帯のパッシブ環境調整手法（エスキモー・イヌイットのイグルー）
- 2) 西岸海洋性気候帯のパッシブ環境調整手法（スペイン・サン・セバスチアンの建物，イギリスのジョージ朝時代の家）

・その他の書籍より

- 3) オンドルの構造例
- 4) 中国の地下住居
- 5) トルコの岩に掘られた住居

4. 参考文献（〔〕内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

パッシブな環境調整

[1] 『建築探訪4 住まいの中の自然』（小玉祐一郎，丸善，1992年10月，¥2,300+税，ISBN：4-621-03768-4）〔開架2，527||Ko 18，0000262807〕

→ 『住まいの中の自然 パッシブデザインのすすめ』（小玉祐一郎，丸善，2008年4月，¥2,400+税，ISBN：978-4-621-07979-9）〔所蔵なし〕

[2] 『エコロジー建築・都市 002 エコ・ハウジングの勧め』（小玉祐一郎，丸善，1996年6月，¥1,800+税，ISBN：4-3621-04196-7）〔開架2，520.8||E 44||2，0000185815〕

[3] 『くうねるところにすむところ 07 子どもたちに伝えたい家の本 地球と生きる家』（野

沢正光, インデックス・コミュニケーションズ, 2005年7月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7573-0317-3) [開架2, 527||Ku 41||7, 0000301067] 【絵本】

[4] 『住宅のパッシブクーリング ～自然を活かした涼しい住まいづくり～』(浦野良美編, 森北出版, 1991年8月, ¥3,800+税, ISBN: 4-627-57030-9) [開架2, 527.1||U 84, 0000254071] 【難しめ】

[5] 『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』(彰国社編, 彰国社, 2000年7月, ¥2,800+税, ISBN: 4-395-11095-9) [開架2, 528.2||Sh 96, 0000251719, 0000253535] 【難しめ】

[6] 『エコハウスの設計』(エコハウス研究会編, オーム社, 2004年6月, ¥3,300+税, ISBN: 4-274-10354-4) [開架2, 527.1||E 44, 0000293065] 【難しめ】 など

伝統的な環境調整

[7] 『絵典 世界の建築に学ぶ知恵と工夫』(ジョン・S・テイラー著, 後藤久訳, 彰国社, 1989年3月, ¥1,600+税, ISBN: 4-395-05082-4) [開架2, 527||Ta 98, 0000236641] 【絵が沢山】

[8] 『百の知恵双書012 湖上の家, 土中の家 世界の住まい環境を測る』(益子義弘+東京芸術大学益子研究室, 農文協, 2006年10月, ¥2,667+税, ISBN: 4-540-04080-4) [開架2, 383.9||Ma 67, 0000310775]

[9] 『くうねるところにすむところ 17 子どもたちに伝えたい家の本 わらの家』(大岩剛一, インデックス・コミュニケーションズ, 2006年7月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7573-0393-9) [開架2, 527.04||Ku 94||17, 0000315985] 【絵本】

[10] 『住まいの伝統技術』(安藤邦廣・乾尚彦・山下浩一, 建築資料社, 1995年3月, ¥3,786+税, ISBN: 4-87460-455-2) [開架2, 521.86||A 47, 0000218064]

[11] 『INAX BOOKLET 風と建築』(INAX ギャラリー企画委員会企画, 住友和子編集室+村松寿満子編, INAX 出版, 2004年3月, ¥1,500+税, ISBN: 4-87275-827-7) [開架2, 524.92||Su 66, 0000283835]

[12] 『民家の自然エネルギー技術』(木村健一編著, 彰国社, 1999年3月, ¥4,381+税, ISBN: 4-395-00521-7) [開架2, 528||Ki 39, 0000221515, 0000221516, 0000250748, 0000250749] 【難しめ】

[13] 『伝統民家の生態学』(花岡稔昌, 海青社, 1991年6月, ¥2,524+税, ISBN: 4-906165-35-4) [開架2, 521.86||H 28, 0000275342] 【難しめ】

[14] 『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』(Sophia and Stefan Behling, Prestel, 1996, US\$ 65.00, ISBN: 3-7913-1670-2) [所蔵なし]

→ソフトカバー版もあり。(『Solar Power』, 2000, ISBN: 3-7913-2411-X) [3 F 洋, 520.1||B

32, 0000279755]

- [15] 『民家のしくみ 環境と共生する技術と知恵』（坊垣和明，学芸出版社，2008年4月，
¥1,800+税，ISBN：978-4-7615-1241-5）〔開架2，521.86||B 62, 0000318830〕 など

日本の民家

- [16] 『熊本の家と暮らし』（石井清喜，石井清喜，1991年6月，¥3,880+税，ISBN：なし）〔郷土資，095||I1, 0000083082〕，〔郷土資，095||I1||A, 0000083083〕 →古書店で購入可。
- [17] 『平凡社新書 094 民家に学ぶ家づくり』（吉田桂二，平凡社，2001年6月，¥700+税，
ISBN：4-582-85094-4）〔文庫本，080||H 51||094, 0000276163〕
- [18] 『建築の絵本 日本人のすまい 住居と生活の歴史』（稲葉和也・中山繁信，彰国社，1983
年4月，¥2,330+税，ISBN：4-395-27021-2）〔開架2，521||I 51, 0000176699〕【絵が
沢山】
- [19] 『図説 日本の文化をさぐる [9] 民家の事典 北海道から沖縄まで[オンデマンド版]』（
川島宙次監修，島田アツヒト文/絵，小峯書店，2000年7月，¥2,500+税，ISBN：
4-338-08001-9）〔所蔵なし〕
→「オンデマンド版」でないものもあり（2004年1月，¥2,700+税，ISBN:4-338-07507-4）。
〔開架2，383.9||Sh 36, 0000295139〕【絵が沢山】
- [20] 『古代の伝承絵 民家の来た道』（川島宙次，相模書房，1992年1月，¥2,816+税，ISBN：
4-7824-9105-0）〔開架2，521.86||Ka 97, 0000254063〕【絵が沢山】
- [22] 『風土にあった生活 和風建築の大研究 日本人の智慧と工夫』（PHP研究所編，PHP研究所，
2006年4月，¥2,800+税，ISBN：4-569-68601-X）〔開架2，521||P 56, 0000308711〕【絵
が沢山】
- [23] 『百の知恵双書013 日本人の住まい 生きる場のかたちとその変遷』（宮本常一，農文協，
2007年3月，¥2,667+税，ISBN：4-540-04081-8）〔開架2，383.9||Mi 77, 0000307501〕
- [24] 『INAX BOOKLET 舟小屋 風土とかたち』（INAXギャラリー企画委員会企画，住友和子編集
室+村松寿満子編，INAX出版，2007年3月，¥1,500+税，ISBN：4-87275-839-9）〔開架
2，384.36||I 54, 0000308358〕
- [25] 『白川郷合掌造 Q&A』（宮澤智士，智書房，2005年8月，¥1,200+税，ISBN:4-434-06431-2）
〔開架2，521.86||Mi 89, 0000308144〕
- [26] 『京の町家』（中村昌生，河原書店，1994年7月，¥922+税，ISBN：4-7611-0126-1）〔開
架2，521.86||N 37, 0000276510〕
- [27] 『京町家の遺伝子』（山本良介，学芸出版社，2006年11月，¥2,000+税，ISBN：
4-7615-2396-4）〔開架2，521.86||Y 31, 0000317641〕
- [28] 『京の町家めぐり』（蔵田敏明+柴田佳彦，淡交社，2001年5月，¥1,500+税，ISBN：

4-473-01811-3) 〔開架2, 383.9||Ku 56, 0000253739〕

- [29] 『「縁側」の思想 アメリカ人建築家の京町家への挑戦』(ジェフリー・ムーサス, 祥伝社, 2008年4月, ¥1,600+税, ISBN: 978-4-396-61305-1) 〔所蔵なし〕
- [30] 『建築探訪2 琉球の住まい 光と影のかたち』(福島駿介, 丸善, 1993年11月, ¥2,300+税, ISBN: 4-621-03902-4) 〔開架2, 523.199||F 84, 0000301590〕
- [31] 『くうねるところにすむところ 03 子どもたちに伝えたい家の本 オキナワの家』(伊礼智, インデックス・コミュニケーションズ, 2004年11月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7573-0276-2) 〔開架2, 527||Ku 41||3, 0000301070〕【絵本】
- [32] 『日本の世界遺産 秘められた智慧と力』(NHK「世界遺産」プロジェクト+河邑厚徳, NHK出版, 2005年6月, ¥1,700+税, ISBN: 4-14-081052-1) 〔開架2, 521||N 69, 0000308145〕
- [33] 『TOKYO NEWS MOOK 通巻20号 DASH村開拓記』(日本テレビ放送網編著, 東京ニュース通信社, 2002年8月, ¥952+税, ISBN: 4-924566-17-9) 〔3 F和, 699.67||D 43, 0000291585〕
など

世界の民家

- [34] 『建築家なしの建築』(バーナード・ルドフスキー, 渡辺武信訳, 鹿島出版会, 1984年1月, ¥1,800+税, ISBN: 4-306-05184-6) 〔開架2, 520.8||Sd 9||184, 0000232300〕
- [35] 『角川 one テーマ 21 C-105 カラー版 世界の不思議な家を訪ねて-土の家, 石の家, 草木の家, 水の家』(小松義夫, 角川書店, 2006年2月, ¥924+税, ISBN: 4-04-710034-X) 〔文庫本, 080||Ka 14||C-105, 0000299154〕【写真が沢山】
- [36] 『絵でみるヨーロッパの民家』(川島宙次, 相模書房, 1987年11月, ¥3,400+税, ISBN: 4-7824-8703-7) 〔開架2, 523.3||Ka 97, 0000250977〕【絵が沢山】
- [37] 『世界の民家 住まいの創造』(川島宙次, 相模書房, 1990年6月, ¥3,350+税, ISBN: 4-7824-9004-6) 〔開架2, 520.2||KA1, 0000053675〕【絵が沢山】
- [38] 『稲作と高床の国 アジアの民家』(川島宙次, 相模書房, 1989年1月, ¥3,800+税, ISBN: 4-7824-8901-3) 〔開架2, 522||Ka 97, 0000254064〕【絵が沢山】
- [39] 『建築の絵本 世界の建築術 人はいかに建築してきたか』(若山滋・TEM研究所, 彰国社, 1986年10月, ¥2,500+税, ISBN: 4-395-27026-3) 〔開架2, 520.2||W 28, 0000177787〕
【絵が沢山】
- [40] 『旅の絵本 地中海・町並み紀行』(吉田桂二, 東京堂出版, 1997年3月, ¥2,500+税, ISBN: 4-490-20189-3) 〔開架2, 293.09||Y 86, 0000308279〕
- [41] 『世界名建築物の謎』(ニール・スティーブンスン, 鈴木博之監訳, ゆまに書房, 2002年3月, ¥4,700+税, ISBN: 4-8433-0485-9) 〔開架2, 520||St 5, 0000277144〕

- [42] 『世界の住まいと暮らし』（服部岑生，放送大学教育振興会，1999年3月，¥2,400+税，ISBN：4-595-51487-5）〔開架2，383.9||H 44，0000234091，0000246648〕
- [43] 『考古学者石野博信のアジア民族建築見てある記』（石野博信，小学館，2004年1月，¥1,600+税，ISBN：4-09-626070-3）〔開架2，522||I 79，0000300730〕
- [44] 『集住の知恵 美しく住むかたち』（日本建築学会，技報堂出版，2005年7月，¥2,000+税，ISBN：4-7655-2482-5）〔開架2，527||N 77，0000303392〕
- [45] 『住まいと文化』（アモス・ラポポート著，山本正三他訳，大明堂，1987年6月，¥2,800+税（2006年10月現在絶版），ISBN：4-470-05004-0）〔開架2，290.17||RA 1，0000263427〕
【難しめ】
- [46] 『世界住居誌』（布野修司編，昭和堂，2005年12月，¥3,000+税，ISBN：4-8122-0443-7）
〔開架2，527||F 89，0000298767〕【難しめ】
- [47] 『地球のカタチ ぼくの家は「世界遺産」』（小松義夫，白水社，2007年11月，¥1,500+税，ISBN：978-4-560-03172-8）〔開架2，383.9||Ko 61，0000319893〕
- [48] 『世界のスローハウス探検隊 日本・世界の「建築家なしの住宅」を巡る』（中山繁信，エクスナレッジ，2008年12月，¥2,000+税，ISBN：978-4-7678-0744-7）〔所蔵なし〕
- [49] 『世界建築老眼遊記 風と大地と』（越野武，新宿書房，2008年3月，¥2,800+税，ISBN：978-4-88008-384-1）〔開架2，383.9||Ko 61，0000319893〕
- [50] 『可笑しな家 世界中の奇妙な家・ふしぎな家 60軒』（黒崎敏・ビーチテラス編著，二見書房，2008年7月，¥1,900+税，ISBN：978-4-576-08095-6）〔所蔵なし〕 など

世界中の特徴ある家々の写真集など

- [51] 『ヨーロッパの家 伝統の街並み・住まいを訪ねて 1～4』（榎山一紘監修，和田久士写真，講談社，2000年5月～11月，各¥3,800+税，ISBN（順に）：4-06-271051-X，4-06-271052-8，4-06-271054-4，4-06-271053-6）〔第1巻：開架2，523.3||Y 84||1，0000249631，0000250972，0000279913〕，〔第2巻：開架2，523.3||Y 84||2，0000249632，0000250973，0000279914〕，〔第3巻：開架2，523.3||Y 84||3，0000249633，0000279915〕，〔第4巻：開架2，523.3||Y 84||4，0000244116，0000279916〕
- [52] 『日本の家 風土・歴史・ひとが築いた町並みと住まい 1～4』（藤井恵介監修，和田久士写真，講談社，2004年3月～2005年2月，各¥3,900+税，ISBN（順に）：4-06-271071-4，4-06-271072-2，4-06-271073-0，4-06-271074-9）〔第1巻：開架2，521.86||N 77||1，0000291443〕，〔第2巻：開架2，521.86||N 77||2，0000291444〕，〔第3巻：開架2，521.86||N 77||3，0000291445〕，〔第4巻：開架2，521.86||N 77||4，0000294678〕
- [53] 『地球家族 世界30か国のふつうの暮らし』（マテリアルワールド・プロジェクト著，TOTO出版，1994年11月，¥1,893+税，ISBN：4-88706-105-6）〔開架2，367.3||Ma 71，

0000319523]

[54] 『シェルター』（ロイド・カーン編，玉井一匡監修，伊藤浩子訳，グリーンアロー出版社，
2001年10月，¥3,619+税，ISBN：4-7663-3329-2）〔開架2，527||Ka 19，0000295123〕

[55] 『季刊 旅行人』2004年夏号，通巻144号，特集 家と街を見に行く旅「民家そして人工
都市」（旅行人，2004年7月，¥980+税）〔所蔵なし〕 など

図版の出典

- ① 『改訂版 生活文化史 日本人の生活と住まいー 中国・韓国と比較してー』（平井聖，放送大
学教育振興会，1998年8月，¥2,000+税，ISBN：4-595-21858-3）〔開架2，383.9||H 64，
0000233055，0000249812〕

5. 参考 URL

[1] 講義資料のダウンロード

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>

[2] 『世界の環境共生住宅』（ダイワハウスのホームページより）

<http://www.daiwahouse.co.jp/eco/column/world/index.html>

[3] 『鉄腕 DASH』（DASH 村のホームページあり，日本テレビのホームページより）

<http://www.ntv.co.jp/dash/>

[4] 肥後民家村のホームページ

http://www.town.nagomi.lg.jp/one_html/pub/default.asp?c_id=88

[5] 角屋保存会のホームページ

<http://www16.ocn.ne.jp/~sumiyaho/>

[6] 沖縄県中城村の中村家のホームページ

<http://www4.ocn.ne.jp/~knaka/>

[7] 「環境デザインマニアック」のホームページ

<http://www.tamabi.ac.jp/kankyoku/kishimoto/default.htm>

[8] 「京町屋資料館」のホームページ

<http://craft.kyoto-np.co.jp/osusume/>

[9] 長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるくのホームページ

<http://www.saruku.info/>

6. スライドリスト

- 1) 青森県黒石市の「こみせ」の夏の様子（2）と同じ場所
- 2) 青森県黒石市の「こみせ」の冬の様子（1）と同じ場所
- 3) 青森県黒石市の「こみせ」の内部の通路（夏）
- 4) 青森県黒石市の「こみせ」の内部の通路（冬）
- 5) 青森県黒石市の「こみせ」と冬の雪
- 6) 青森県黒石市の「こみせ」の雪が入ってこない工夫
- 7) 新潟県上越市高田の「雁木」の古い写真（2m以上の積雪）
- 8) 新潟県上越市高田の「雁木」とバス停
- 9) 新潟県上越市高田の「雁木」のうち「落とし込み雁木」と梯子
- 10) 新潟県上越市高田の「雁木」のうち「造り込み雁木」
- 11) 新潟県上越市高田の「雁木」と電話ボックス（電話が内側を向いている）
- 12) 石川県の能登半島の日本海側の防風林
- 13) 対馬の石屋根（肥後民家村）
- 14) オランダ・アムステルダム煉瓦造の住居
- 15) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 16) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 17) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 18) イギリス・チェスターのチェスター・ロー
- 19) イギリス・チェスターの中心部の交差点にて
- 20) 石川県金沢市の「あめの俵屋」（1階の庇下の垂れ壁に注意）
- 21) 石川県金沢市の民家の中庭を囲む部屋
- 22) 石川県金沢市の民家の中庭を囲む部屋とすだれ
- 23) 京都市の島原にある「角屋」の縁側
- 24) 旧河野家住宅（肥後民家村）の縁側
- 25) 中村家住宅（沖縄県北中城村）の雨端（アマハジ）
- 26) タイ・バンコクの寺院（急傾斜の屋根に注意）
- 27) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウス
- 28) ・ペナン島・ジョージタウンの街並み
- 29) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウス（拡大）
- 30) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウスのファイブ・フット・ウェイ
- 31) シンガポールのショップハウスの鎧戸
- 32) 長崎市・東山手十三番館（設計：不詳，1876年）の鎧戸
- 33) 長崎市・東山手十三番館の鎧戸と留め金（拡大）

- 34) 長崎市・旧内外クラブ記念館（旧長崎内外倶楽部）（設計：不詳，復原設計：波多野純建築設計室，1903年，2000年復原）のベランダ
- 35) シンガポールの裏道（たくさんのエアコンの室外機に注意）
- 36) マレーシアの伝統的な高床式住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）
- 37) マレーシアの伝統的な住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）の風を通す壁
- 38) マレーシアの伝統的な竹製の住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）
- 39) マレーシアの伝統的な住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）の竹の床
- 40) スペイン南部のある街（白い家が立ち並ぶ）
- 41) スペイン・セビリアの街並み
- 42) イスタンブールの市場で（単に色が綺麗だったので・・・）
- 43) スペイン・グラナダの中庭を持つ家
- 44) スペイン・セビリアの噴水のある中庭
- 45) スペイン・マラガの細い路地
- 46) バルセロナのビルの日除け
- 47) イタリア・ボローニャのポルティコ
- 48) イタリア・ボローニャのポルティコの原型
- 49) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place（設計：Harry Seider & Associates, 1982～1988年）
- 50) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place の日除け装置
- 51) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place の日除け装置（拡大）
- 52) オーストラリア・シドニーの East Circular Quay（設計：Andrew Andersons（Peddle Thorp & Walker）, 2000年）の住居部分（？）の日除けのアップ
- 53) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre（設計：Ed Lippmann, 1988年）
- 54) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre の自然換気のための排気口
- 55) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre の自然換気のための吸気口（ルーバー）
- 56) オーストラリア・シドニーの Aurora Place（設計：Renzo Piano Building Workshop, 1996～2000年）
- 57) オーストラリア・シドニーの Aurora Place のガラス開閉窓
- 58) オーストラリア・シドニーの Aurora Place のガラス開閉窓（拡大）
- 59) 大阪市水上消防署（設計：大阪市都市整備局営繕部設計課＋堀場弘＋工藤和美（シーラカンズ K&H）, 1999年）

- 60) 大阪市水上消防署の可動式ルーバー
- 61) 福岡市・アクロス福岡（設計：日本設計+竹中工務店，1995年）の屋上庭園
- 62) 屋上緑化された平安郷（河井敏明設計，沖縄県うるま市）
- 63) フランス・パリのアラブ世界研究所（設計：Jean Nouvel + Architecture Studio, 1981～1987年）
- 64) フランス・パリのアラブ世界研究所のダイヤフラムの窓
- 65) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館（設計：Alfred Berger + Tiina Parkkinen, 1995～1999年）→デンマーク，アイスランド，ノルウェー，スウェーデン，フィンランドの大使館
- 66) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館のカッパー・バンド（銅の薄板）
- 67) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館のうちのデンマーク大使館部分